

説教余滴、神山教会から胡蝶蘭、2018年3月18日、

12日、月曜日午前、電話がありました。神山教会の加藤博子さんからでした。

持田牧師の『牧会50年記念・感謝会』が開かれる、と聞いたので日時を教えてほしいとのことでした。残念ながら、すでに終わりました。お煩わせしては申し訳ないので、ご案内しませんでした。お許してください。

上野忠昭さんからは、自分は目も耳も不自由になって何もできないから、何とかしてほしいと言われている。是非、何かの形で感謝の気持ちを表したい、どうしたらよいか教えてほしい。

このようなやり取りがあり、翌日午後、横須賀市林の花進から電話がありました。30分ほどで届いたのが「胡蝶蘭、白色三本立で一鉢」です。テレビなどで、高級レストランやクラブの開店祝い、政治家の当選祝いや大臣就任祝いで並んでいるのと、お店の中に並んでいるのを見たことはあります。まさか自分の手元で見ることになるとは、びっくり仰天です。

神山教会は、療養所内の単立教会として、好善社によって建てられました。

私が御殿場教会に赴任した時、鹿児島にいた棟居勇牧師が、「良い所へ行ってくれた。南の方、駿河療養所内神山教会に大日向繁牧師を訪ねてほしい」とのハガキ。お訪ねすると教会堂の板敷に、教会の方々が、ぴたっと座ってお迎えくださいました。両手をつけて「よくおいで下さいました」とご挨拶。一同、この日の来ることを祈って待っていました。地元の教会と交わることを願っていました。今、初めて叶えられました。大日向牧師就任と共に祈り始めたようです。その時期は、わたしの神学校入学の頃。私はこの日のために祈られて来たのだ、と納得。献身を新たにしました。以来、岩槻、大阪と移動してもそこから、第5主日には通い、礼拝を共にしてきました。

今は、信徒は三名のみ。どうぞ覚えてお祈りください。

762文字